

# 学習指導要領検索システム 導入マニュアル

2023年03月01日版

1. はじめに	・・・・・・・・・・ P1
2. データベース	・・・・・・・・・・ P2
3. インストール	・・・・・・・・・・ P3
4. プログラムのインポート	・・・・・・・・・・ P4
5. 環境設定	・・・・・・・・・・ P7
6. プログラムの実行	・・・・・・・・・・ P11
7. プログラムの動作確認	・・・・・・・・・・ P13

# 1. はじめに

2022年度文部科学省事業の「CBT システムの拡充・活用推進、教育データの利活用推進事業（学習指導要領コードの利活用に関する調査研究事業）」の成果として3つのデータセットを作成しました。

データセット	概要
学習指導要領データセット	文部科学省から公表されている「学習指導要領コードのコード表（全体版）」を元に作成したデータセット
学習指導要領解説データセット	学習指導要領コードと学習指導要領解説のPDFのページとの紐付けを行うデータセット
学習指導要領解説URLデータセット	学習指導要領解説PDFの所在を表すデータセット

作成したデータセットが正しく動作するのかを検証するために、学校種別と教科で学習指導要領データセットを検索し、検索結果を学習指導要領コードで学習指導要領解説データセット・学習指導要領解説URLデータセットを結び付けて表示を行い、検索結果選択により、学習指導要領解説PDFの解説が載っているページへリンクする検索システムを作成しました。

この導入マニュアルでは開発環境にプログラムを読み込み、動作させるまでの手順を記しています。

## 2. データベース

検索システムのデータベースは容易に中身が確認できるようにSQLiteを使用しています。  
データベースは4つのテーブルからなっています。

### 1) mst\_course\_study

学習指導要領データセットを加工せずにインポートして作ったテーブルです。

### 2) mst\_course\_study\_explanation

学習指導要領解説データセットを加工せずにインポートして作ったテーブルです。

### 3) mst\_course\_study\_explanation\_url

学習指導要領解説URLデータセットを加工せずにインポートして作ったテーブルです。

### 4) mst\_kensaku

検索用のマスタテーブルです。

学校種別と教科のコンボボックスの表示に利用しています。

文部科学省が公開している「学習指導要領コードのコード割り当て表」を元に作成しています。

表は下記URLよりダウンロードできます。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/data\\_00001.htm#section3](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/data_00001.htm#section3)

## 3. インストール

学習指導要領検索システム(以下、検索システム)はNode.jsを利用して作成しております。  
検索システムを確認するには、開発環境とNode.jsをダウンロードしてください。  
本マニュアルでは開発環境としてVisual Studio Code を例としています。

### 1.1. Visual Studio Code のダウンロード & インストール

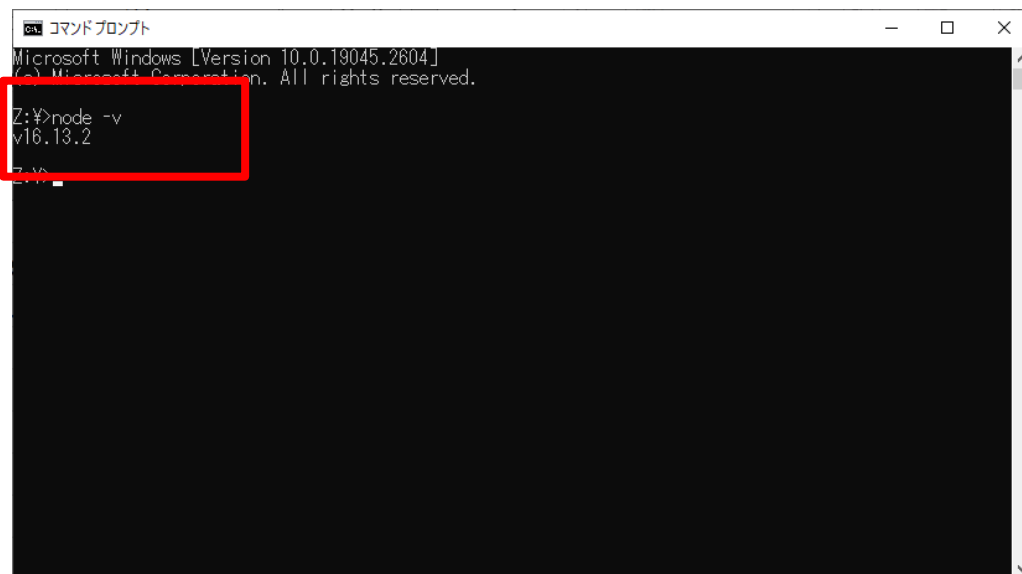
<https://code.visualstudio.com/download>

### 1.2. Node.js v16.13.1 のダウンロード & インストール

<https://nodejs.org/dist/v16.13.1/node-v16.13.1-x64.msi>

Node.jsがインストールされたかを確認します。

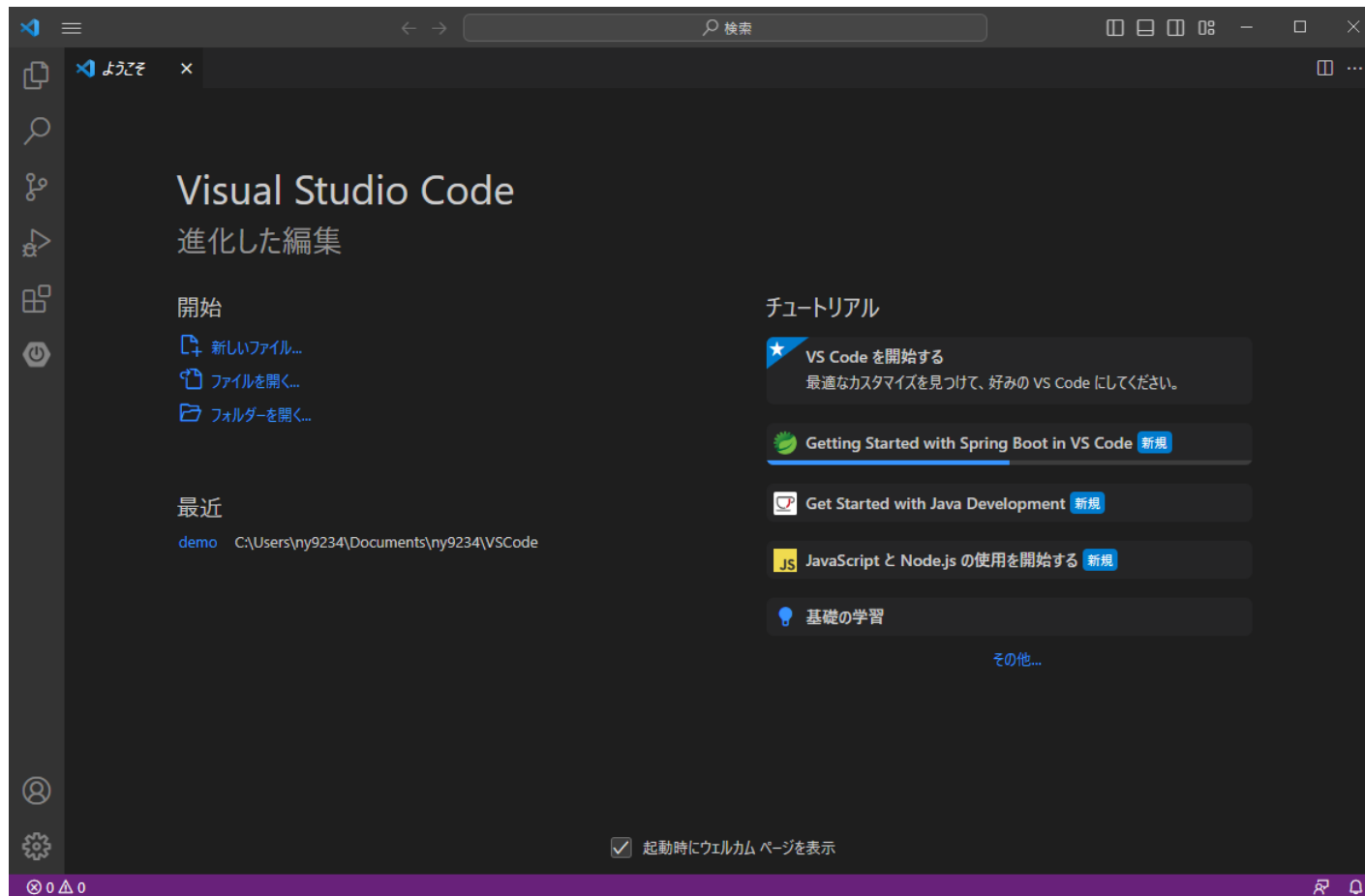
コマンドプロンプトで次のコマンドを実行します: 「node -v」 (コマンドの実行結果にNode.jsのバージョン「v.16.13.1」が表示出来ればインストール完了となります。)

A screenshot of a Windows Command Prompt window. The title bar reads 'コマンドプロンプト'. The window content shows 'Microsoft Windows [Version 10.0.19045.2604]' and '(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.' at the top. Below this, the command 'Z:\>node -v' is entered, and the output 'v16.13.2' is displayed. A red rectangular box highlights the command and its output.

## 4. プログラムのインポート

GitHubよりダウンロードしたプログラムファイルをVisual Studio Code にインポートします。

1) Visual Studio Codeを起動します。

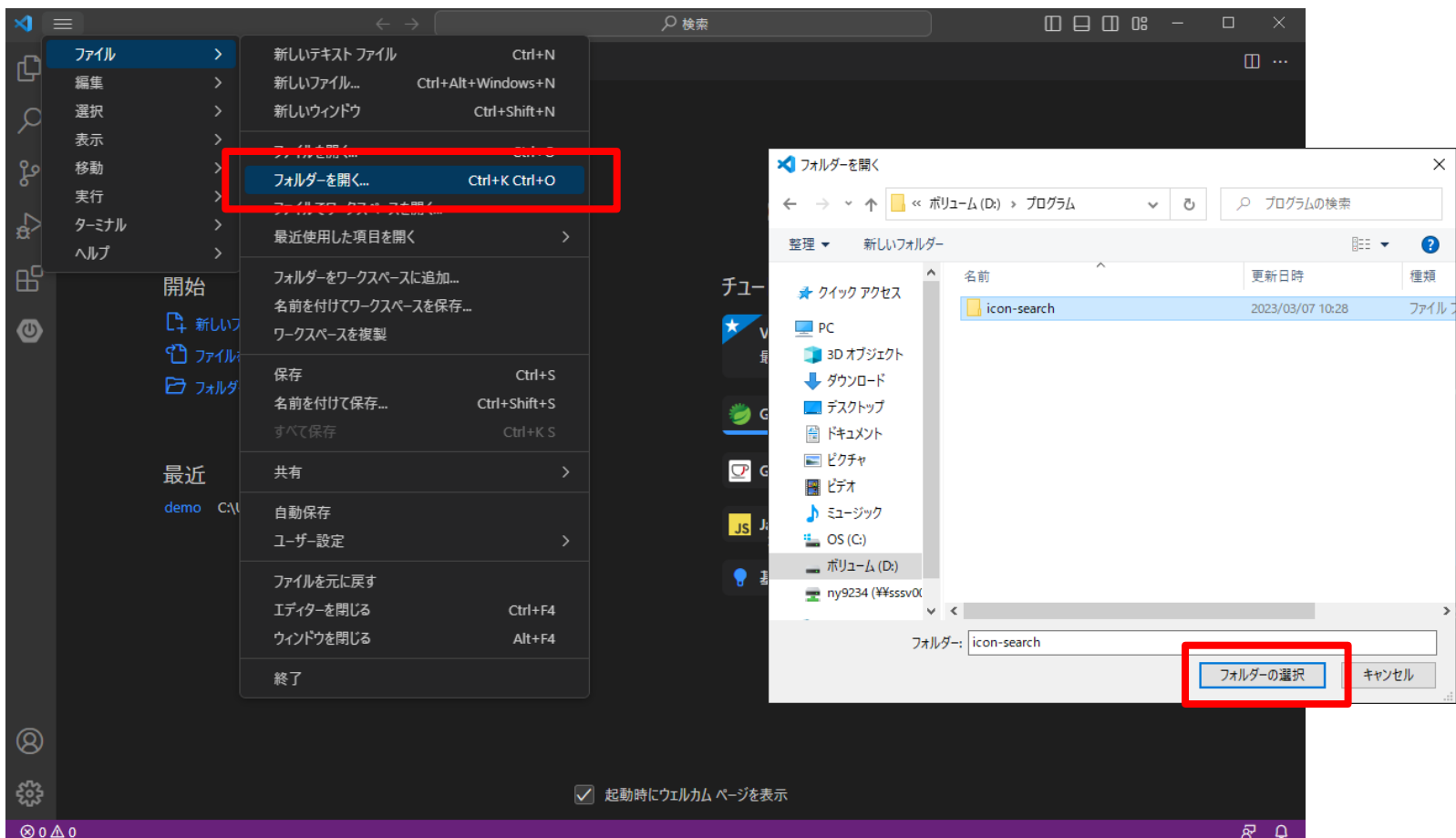


## 4. プログラムのインポート

2) GitHubよりダウンロードしたファイルを開きます。

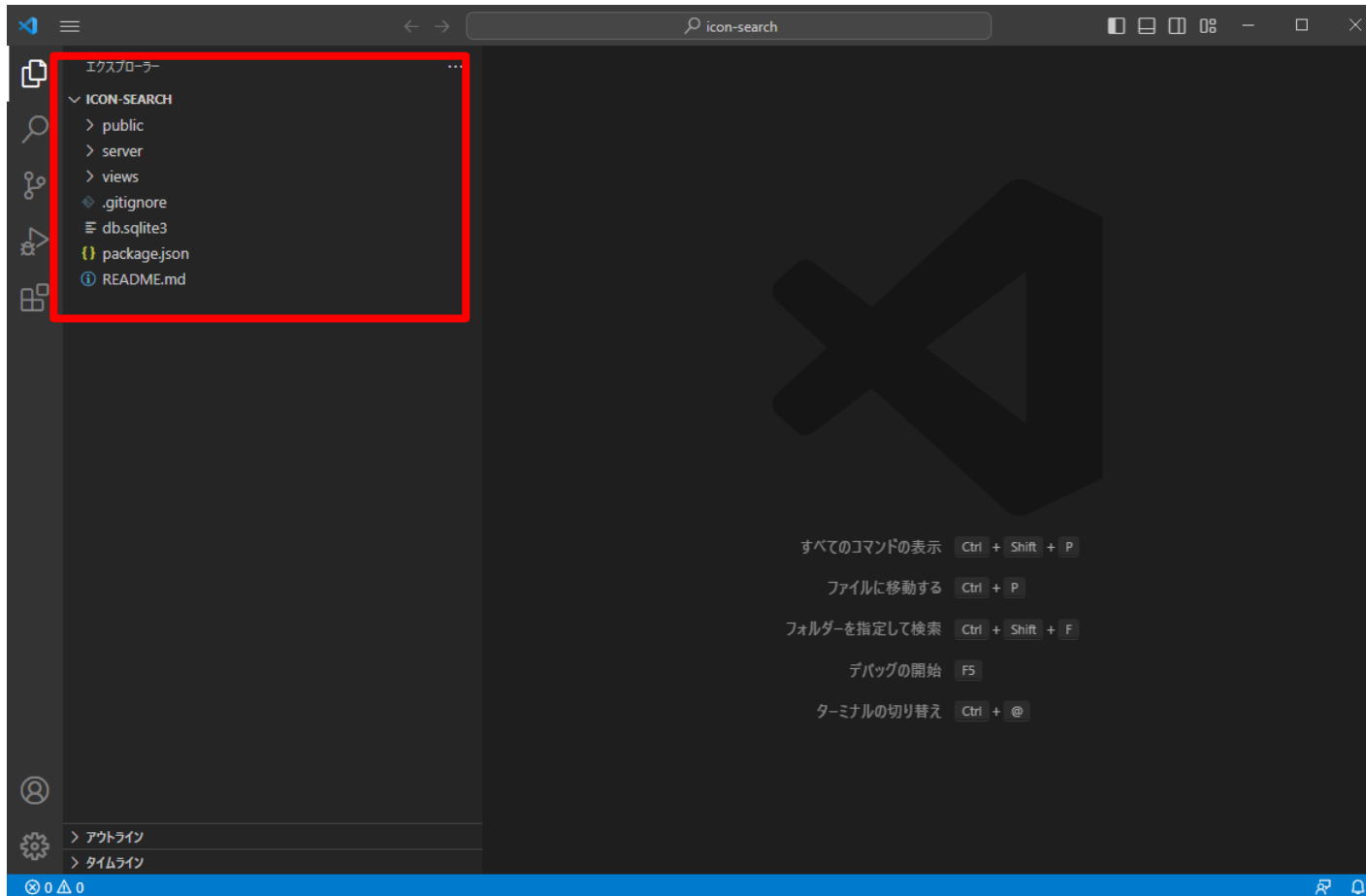
「ファイル」→「フォルダーを開く...」をクリックします。

チェックアウトしたフォルダを選択して「フォルダーの選択」をクリックします。



## 4. プログラムのインポート

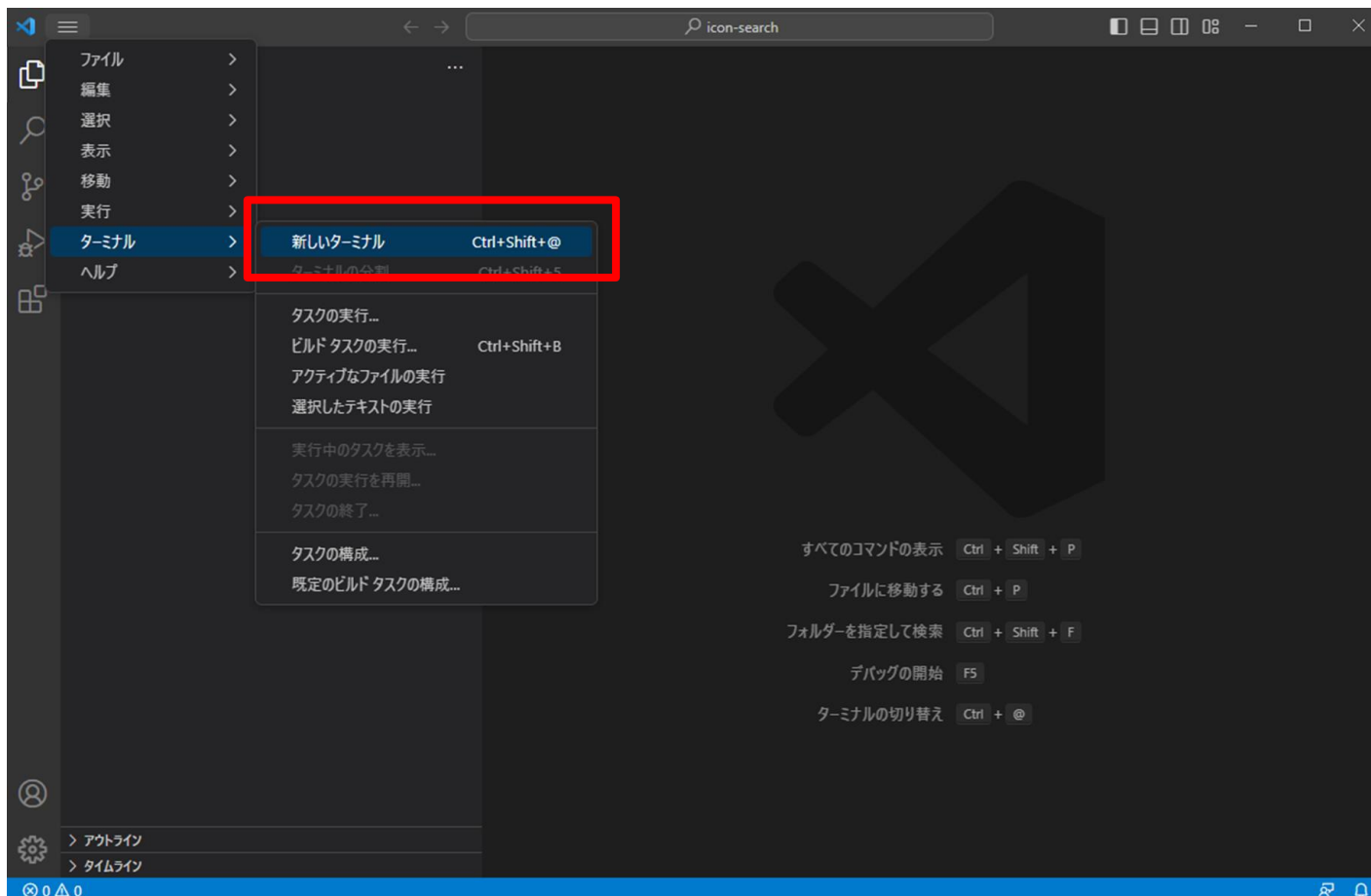
3) フォルダー内のプログラムが読み込まれ、エクスプローラーに表示されます。



## 5. 環境設定

ターミナルでNodeコマンドを実行することによってプログラムの実行に必要なライブラリをダウンロードします。

1) 「ターミナル」 → 「新しいターミナル」 をクリックします。

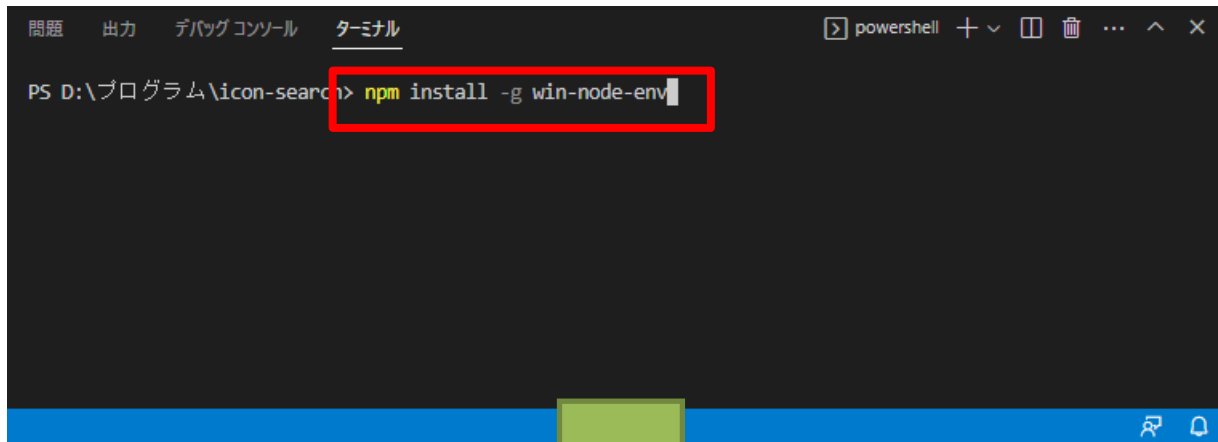




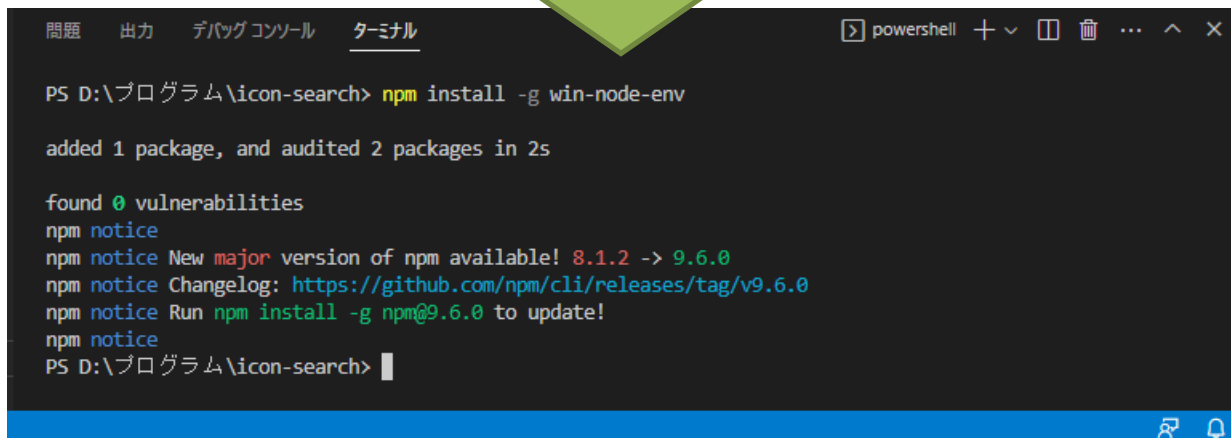
## 5. 環境設定

2) Node環境インストール用のコマンドを実行します。

動作環境がWindowsの場合、NODE\_ENV環境変数を設定する必要があります。  
設定には「`npm install -g win-node-env`」を実行してください。



```
問題 出力 デバッグ コンソール ターミナル powershell + - [ ] [ ] ... ^ X
PS D:\プログラム\icon-search> npm install -g win-node-env
```



```
問題 出力 デバッグ コンソール ターミナル powershell + - [ ] [ ] ... ^ X
PS D:\プログラム\icon-search> npm install -g win-node-env

added 1 package, and audited 2 packages in 2s

found 0 vulnerabilities
npm notice
npm notice New major version of npm available! 8.1.2 -> 9.6.0
npm notice Changelog: https://github.com/npm/cli/releases/tag/v9.6.0
npm notice Run npm install -g npm@9.6.0 to update!
npm notice
PS D:\プログラム\icon-search>
```

## 5. 環境設定

3) 「npm i」を実行してライブラリをインストールします。

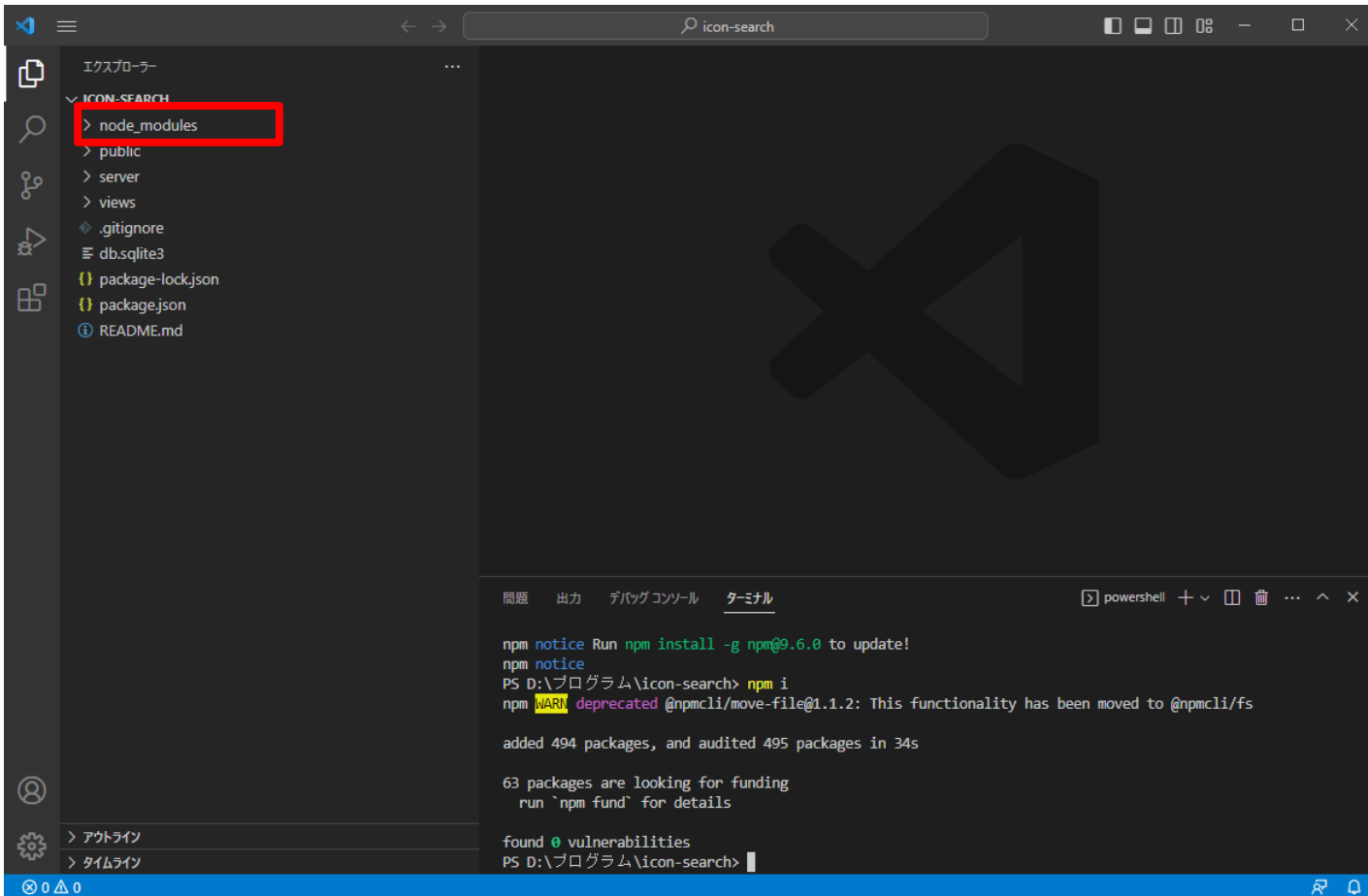
```
問題 出力 デバッグコンソール ターミナル powershell + - [] ... ^ x
PS D:\プログラム\icon-search> npm install -g win-node-env
added 1 package, and audited 2 packages in 2s
found 0 vulnerabilities
npm notice
npm notice New major version of npm available! 8.1.2 -> 9.6.0
npm notice Changelog: https://github.com/npm/cli/releases/tag/v9.6.0
npm notice Run npm install -g npm@9.6.0 to update!
npm notice
PS D:\プログラム\icon-search> npm i
```



```
問題 出力 デバッグコンソール ターミナル powershell + - [] ... ^ x
npm notice Run npm install -g npm@9.6.0 to update!
npm notice
PS D:\プログラム\icon-search> npm i
npm WARN deprecated @npmcli/move-file@1.1.2: This functionality has been moved to @npmcli/fs
added 494 packages, and audited 495 packages in 34s
63 packages are looking for funding
run `npm fund` for details
found 0 vulnerabilities
PS D:\プログラム\icon-search>
```

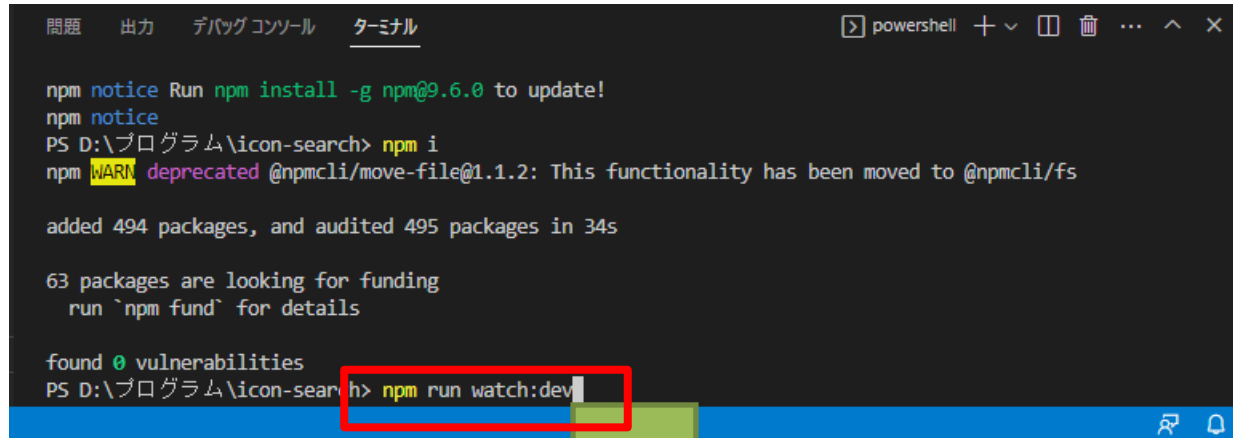
## 5. 環境設定

4) 「node\_modules」 というフォルダが新たに作成されます。



## 6. プログラムの実行

1) ターミナルで「npm run watch:dev」を実行します。



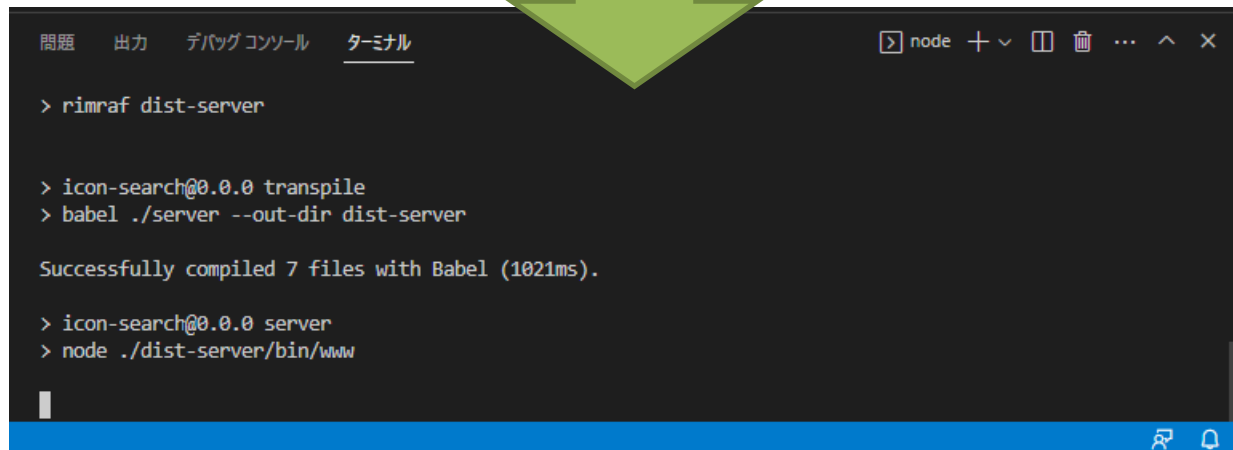
A terminal window titled 'ターミナル' (Terminal) with a PowerShell prompt. The output shows npm notices, installation of dependencies, and a warning about a deprecated package. The command 'npm run watch:dev' is entered and highlighted with a red box.

```
npm notice Run npm install -g npm@9.6.0 to update!
npm notice
PS D:\プログラム\icon-search> npm i
npm WARN deprecated @npmcli/move-file@1.1.2: This functionality has been moved to @npmcli/fs

added 494 packages, and audited 495 packages in 34s

63 packages are looking for funding
  run `npm fund` for details

found 0 vulnerabilities
PS D:\プログラム\icon-search> npm run watch:dev
```



A terminal window titled 'ターミナル' (Terminal) with a Node.js prompt. The output shows the execution of the 'watch:dev' script, which runs 'rimraf dist-server', 'babel ./server --out-dir dist-server', and 'node ./dist-server/bin/www'.

```
> rimraf dist-server

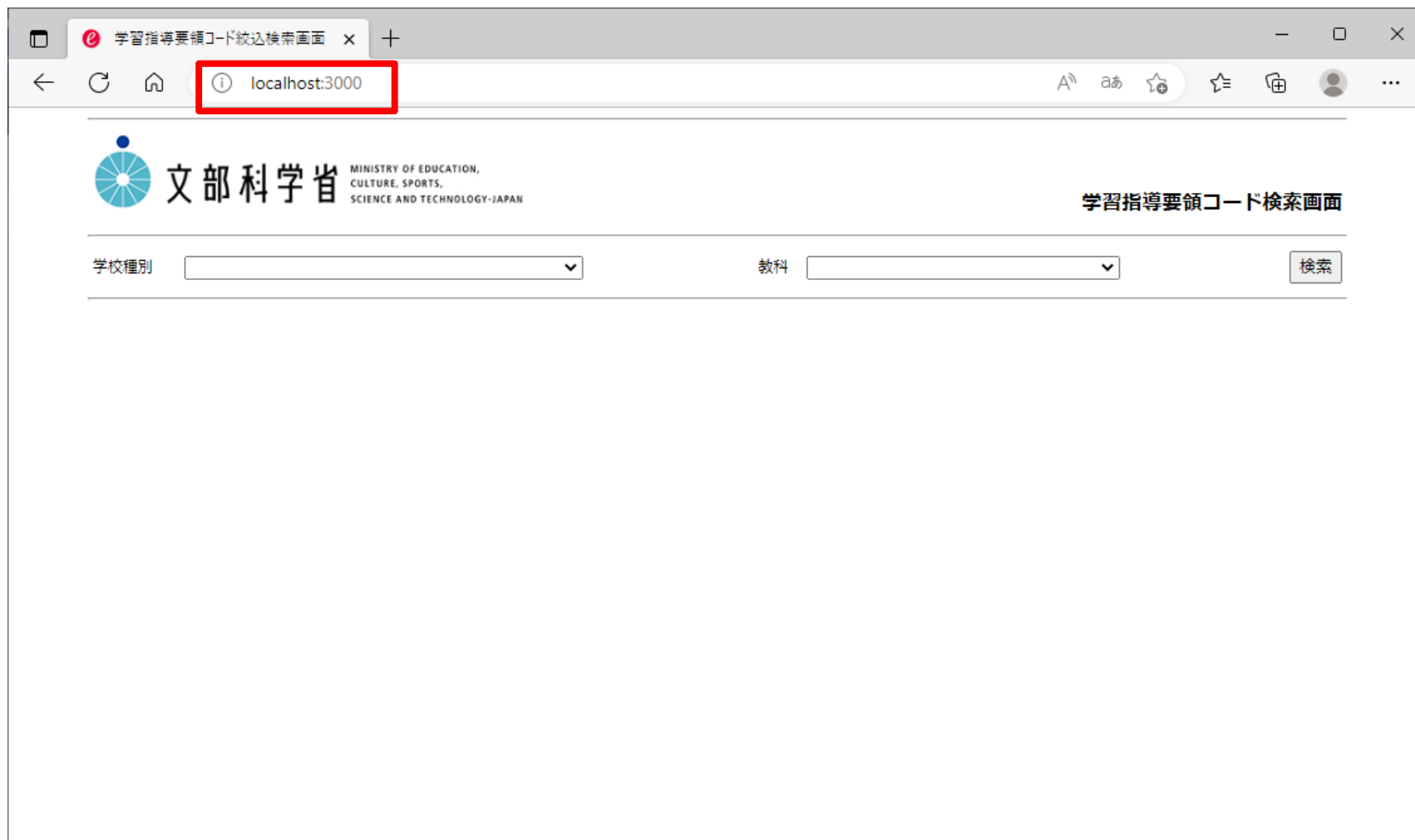
> icon-search@0.0.0 transpile
> babel ./server --out-dir dist-server

Successfully compiled 7 files with Babel (1021ms).

> icon-search@0.0.0 server
> node ./dist-server/bin/www
```

## 6. プログラムの実行

2) ブラウザで「<http://localhost:3000/>」にアクセスします。  
プログラムの実行を確認していただけます。



## 7. プログラムの動作確認

### 1) 学校種別を選択します。

学校種別

▼

- 小学校
- 中学校
- 特別支援学校小学部・中学部（障害分類なし）
- 特別支援学校小学部（視覚・聴覚・肢体・病弱）
- 特別支援学校小学部（知的）
- 特別支援学校中学部（視覚・聴覚・肢体・病弱）
- 特別支援学校中学部（知的）

### 2) 教科を選択します。

教科

▼

- 総則
- 国語
- 社会
- 算数／数学
- 理科
- 生活
- 音楽
- 図画工作
- 家庭
- 体育／保健体育
- 外国語
- 道徳／特別の教科 道徳
- 外国語活動
- 総合的な学習の時間／総合的な探究の時間
- 特別活動
- 各教科（共通）

※学校種別を選択しないと教科の選択はできません。

# 7. プログラムの動作確認

## 3) 検索ボタンを押すと学習指導要領が表示されます。

The screenshot shows the MEXT website's search interface for Learning Guidelines. The search criteria are set to '小学校' (Elementary School) and '社会' (Social Studies). The search button is highlighted with a red box. Below the search bar, the results for '第2節 社会' (Section 2: Society) are displayed, including the '第1 目標' (First Objective) and '第2 各学年の目標及び内容' (Second: Objectives and Content for Each Grade Level).

第2節 社会

第1 目標 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

(3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

第2 各学年の目標及び内容

(第3学年)

1 目標 社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。

(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

2 内容

(1) 身近な地域や市区町村（以下第2章第2節において「市」という。）の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。

(ロ) 観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。

(ロ) 地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。

(ロ) 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。

(ハ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現すること。

(ロ) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。

(ハ) 地域の安全を守る働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解すること。

(ロ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現すること。

(ロ) 市の様子の移り変わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。

(ロ) 聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

## 7. プログラムの動作確認

4) 検索条件を選択していない場合や、検索結果が0件の場合はメッセージが表示されます。

学校種別	<input type="text"/>	教科	<input type="text"/>	検索
------	----------------------	----	----------------------	----

学校種別または教科が未選択です。選択してください。

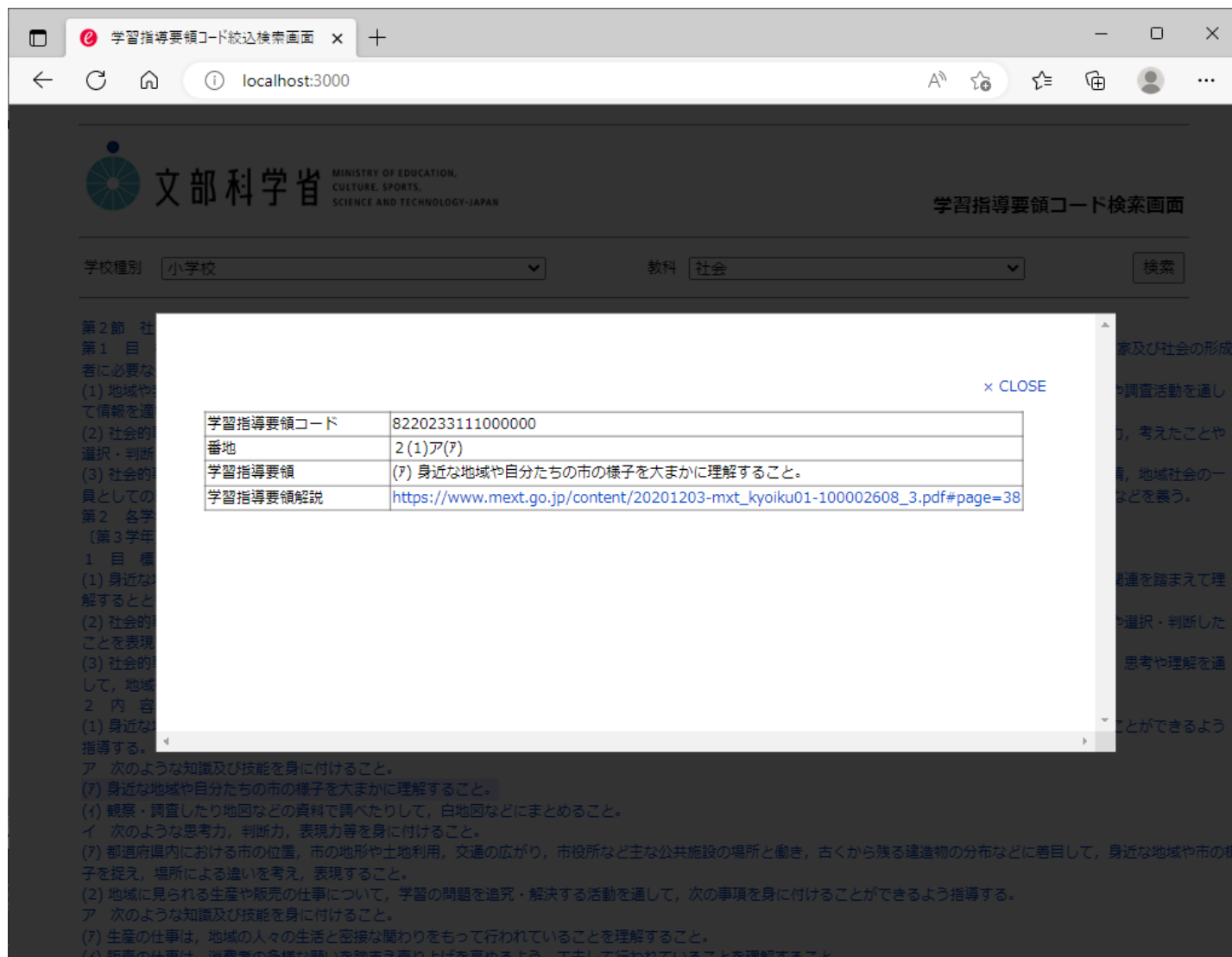
学校種別	<input type="text" value="特別支援学校中学部（知的）"/>	教科	<input type="text" value="その他特に必要な教科／学校設定教科"/>	検索
------	--------------------------------------------	----	------------------------------------------------	----

検索結果が0件です。



## 7. プログラムの動作確認

5) 3)で表示された学習指導要領をクリックするとポップアップ画面が表示されます。



文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

学習指導要領コード検索画面

学校種別: 小学校 教科: 社会 検索

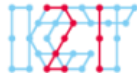
学習指導要領コード	8220233111000000
番地	2(1)ア(7)
学習指導要領	(7) 身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。
学習指導要領解説	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20201203-mxt_kyoiku01-100002608_3.pdf#page=38">https://www.mext.go.jp/content/20201203-mxt_kyoiku01-100002608_3.pdf#page=38</a>

× CLOSE

# 7. プログラムの動作確認

6) 学習指導要領解説をクリックすると学習指導要領解説PDFの解説が書かれているページが別タブで表示されます。





## 学習指導要領検索システム 導入マニュアル

end